

## 教育者研究会で学びました!

平成26年8月11日(月)第51回教育者研究会岐阜県4会場の内、羽島会場に参加しました。場所は羽島市福祉ふれあい会館です。羽島市民会館隣りにできた、新しい冷房の効いた施設でありました。

来年度の岐阜地区大会は、本会が中心になって運営する番になりますので、参考にすべきことをメモしながらの参加となりました。

開会式は、国歌斉唱の後、岐阜県モラロジー協議会中村修一会長のご挨拶、(財)モラロジー研究所を代表して都竹高一氏による主催者挨拶がありました。また、地元を代表して松井 聡羽島市長、伏屋 敬介羽島市教育長より、心温まるご挨拶がありました。羽島市では、家族の絆をテーマにした作文募集をしており、教育長自らの朗読で紹介して下さった入選作の内容は、深く心に響くものでした。

テーマは、引き続き「思いやりの心を育てる」です。ご挨拶された皆様は、利己的な言動に走らず、相手を尊重するという不断の心構えが備わっておいでのようです。「自分を反省したり、相手を許す謙虚さや周囲に奉仕する深い優しさ」の不足を深く自覚させられました。



開会挨拶

中村会長



主催者挨拶

都竹氏



来賓挨拶(羽島市)

松井市長



伏屋教育長

## 平成26年度 研修内容

### 第1講「質の高い道徳を求めて」

社会教育講師 谷渕 篤孝 先生

谷渕先生は麗澤瑞浪中・高校にお勤めです。親元を離れ、期待を背負って入学して来る生徒を指導されてきた体験から始められました。「自分の子をこの学校に入学させたいかと問われ、Yesと答えられる学校にすることが第一歩」であり、そのために「自ら品位(人間性)と専門性を高める」「責任転嫁をしない」「よいことを広める」「見て見ぬふりをしない」教師になろうと皆で努力されました。

特に、「今日のありがとうを39思い出して書く」実践は、谷渕先生の教育現場に対する熱い問いかけであると感じました。

### 教育実践発表「『私たちの道徳』の活用について」

岐阜市立加納小学校 松浦 康孝 教諭

道徳教育の改善・充実のために『心のノート』を発展させた『私たちの道徳』が生まれたそうです。松浦先生は、6年生担任として、その活用の仕方を3つの実践例で具体的に示されました。

教科と関連させた活用では、「自他の生命を尊重して」で「自分という存在が、多くの人との関わりや支え合いによる」ことを学んだので、国語科「生き物はつながりの中に」のまとめが生命の尊重をより深く自覚できたこと・児童の日常生活と関連させた活用では、「家族の幸せを求めて」を読んで自分のできる目標づくりをしたこと・道徳の時間と関連させた活用では、資料「知らない間の出来事」で生きた情報モラルを学び合ったことが分かりました。



## 第2講「道德教育で大切なこと」

文科省初等中等教育局教科調査官

澤田 浩一 先生

澤田先生は、国立教育研究所にもお勤めで、全国各地を廻っての道德挙育の充実に尽力されています。深いご造詣を、ご自身の体験や分かりやすい例えとして話されるので、時間を長く感じさせない講話でした。

日本の子どもたちや先生方の自尊感情が低い（谷渕先生も触れていた）点は、「生きぬく力」を育むために、どうしても乗り越えたい。特に、先生方が「能力」の物差しで誉められていないことに起因すると、教育環境の課題を示されたように思いました。

道德教育が学校の教育活動全体を通して行うことは大前提であるが、これからの時代に求められる「国語力」は感じる力、想像する力であることから、道德の時間においては、さらに対話「語り合う」ことを重視していく必要を強調されました。

テーマである「思いやり」は、日本文化独特の気風であり、小・中学校の道德は、その心をもてるように存在すると言ってよいと断言されたように受け止めました。

話題・関心を集めている「教科化」については、体系的な指導により道德的価値に関わる知識・技能を学ぶという「教科」と共通する側面と、人格全体に関わる力を育成する側面の双方の総合的な充実を図ることが重要と述べられました。審議の最終局面を迎えるこの時期、慎重な言い回しをされていると思いました。

最後に、子安会長より「岐阜県の道德教育を支え、発展させてくれる先生方への期待」を込め、「今回も有意義な研修の場になりました」と総括していただきました。

閉会の挨拶 子安会長



本会からは5名参加しました。

左から、森理事、神谷副会長、森山会長、伊藤理事、広井副会長

「どの先生のお話もよかったのだけれども、特に谷渕先生のが

よかった。」と述べられたのは、神谷副会長さん。小生も同感で、インドの説話として紹介してくださった「ジャナカ王とアシュタバクラ」が、特に印象に残りました。「人生で起きることは全て最高です」が口癖の家臣（アシュタバクラ）のように、ぶれることない、前向きな生き方がしたいものです。



## 本田小11月13日全国に輝く！

第50回 全国小学校道德教育研究大会

第27回 中部地区小学校道德教育研究大会 岐阜大会

いよいよ迫りました。発表校である瑞穂市立本田小学校の子どもたちや先生方を応援したいと思います。皆様のより多くのご参加をお願いします。参加費二千元。主な日程は以下の通り。

11月13日（木） 瑞穂市立本田小学校

- 12:40～ 受付開始（県内の受付場所へ）
- 13:10～ 全体会（体育館で伊藤校長先生のご挨拶あり）
- 14:00～ 公開授業（17学級で）
- 15:00～ 学年別分科会（6部会に分かれて）
- ～16:30 終了予定

11月14日（金） 長良川国際会議場

- 9:00～ 受付開始
- 9:30～ 課題別分科会（4つの分科会）
- 12:30～ 開会行事
- 13:15～ 指導講話（文科省教科調査官・赤堀博行氏）
- 14:30～ 記念講演（宮内庁式部職鶴匠・山下純司氏）
- 16:00～ 閉会行事 ※16:15終了予定